



会長	阿部賢悟	幹事	遠藤光則	会報	飯塚仁哉	渡辺光悦
	江川静元		佐藤静市		佐藤静市	布施孝尚
例会場	サンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327					
例会日	毎週木曜日 12:30~13:30					
事務所	サンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327					

## 第2308回例会 2011. 6. 30 No.45

### 本日の出席率

- ・本日の出席率 100%
- ・前回確定出席率 100%

### ニコニコボックス

- ・出席会員全員よりいただきました。ありがとうございました。

### 会長要件 阿部賢悟会長

最後の会長要件を申し上げます。  
6月28日、気仙沼市本吉響高校に、かねてより進めておりました自転車30台の支援に行っていました。当クラブからは、八谷郁夫バスターガバナー、菅原文之副会長、猪股有夫会員、佐藤静市会員、私の5人で午後4時に佐藤教頭先生、三浦事務室長とのご挨拶の後、贈呈式に臨みました。30人の生徒を前に佐藤教頭先生の進行で、佐沼ロータリークラブを代表して、八谷郁夫バスターガバナーが挨拶し、生徒代表2人に引き渡しました。生徒から通学に利用するとても良い自転車を戴いたと感謝の言葉があり贈呈式を終えました。  
6月29日には、朝8時、大宮シティロータリークラブのメンバー25名が3回目の災害支援に来られました。ほぼ完成いたしました10周年記念事業である合同庁舎前の時計台を見ていただきました。永井厚会長から寄付金10万円を頂戴いたしました。  
10時、志津川高校の日下校長先生と佐藤教頭先生が当店にお見えになり、菅原文之副会長と2人でお会いし、志津川高校1年生への夏服の支援について話し合いを行いました。これにつきましては、次年度に引き継ぎ支援してまいります。  
昨年の7月1日(木)の例会でスタートしました2010-2011年度は、本日6月30日(木)をもって終わりとなり、私の会長任期も今日限りとなっております。最初は1年間会長が務まるのか心配いたしました。遠藤光則幹事をはじめ会員皆様の献身的な応援でこうして最後

の例会を迎えることが出来ました。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

### 幹事報告 遠藤光則幹事

- ・ガバナー事務所より
- 1. 2010-2011年度地区負担金制度の返金のお知らせ
- 2. 人頭分担金の免除並びにロータリー財団の寄付について。
- 3. 沿岸地域被災クラブへの追加義援金送金の件
- 4. 2010-2011年度青少年短期海外研修報告書
- ・寒川RCよりお礼状が届く
- ・ロータリーの友事務所より
- 「友」購読料減免申請の件

### 各委員会報告

- ・被災地支援の件 (阿部泰彦会員)  
大宮シティロータリークラブ支援活動について  
今回は、第3回支援活動として、車16台持って来て、登米市震災対策本部、南三陸町に行っていました。岩淵栄市会員ご協力ありがとうございました。今日、8時30分に集合し最初に善王寺に避難してあります戸倉小学校で運動会で使用する拡声器を持って行きました。志津川の保育所で炊き出しをし、他2~3の保育所、小学校に希望していた物資を持って行きました。この様に大宮シティロータリークラブの皆様による支援物資を被災地に贈り、大変よろこばれました。
- ・次期プログラム委員会 (阿部賢悟次期委員長)  
本日配布いたしました週報綴りに、次年度のプログラムが綴じてありますのでご覧いただきたいと思ます。新しく例会の回数を入れました。
- ・会員増強委員会 (阿部泰彦委員長)  
今年度は3名増強いたしました。新入会の長沼盛雄会員、岩淵栄市会員、杉田広仁会員、最終例会にご出席いただき、ほんとうにありがとうございます。

### クラブ協議会 (担当: 遠藤光則幹事) その3

- ・環境保全委員会 (山田直志委員長)  
今年度は6つの目標を掲げて進めてまいりました。  
第3回目、縄文の森づくりでヤマボウシ47本を10月17日にフートピア公園に植樹しました。参加人数は5団体でロータリアン11名を含む24名でした。事業の中で標柱を2本阿部泰彦会員のご協力で建てました。10年先までの活動計画を立案する点につきましては、環境整備支援事業というのは、国際ロータリーの基本方針の1つと考えられますので、年度毎に事業を上程するのがよく、10年間という先を見た様な計画はまずなかったのではと反省しております。クリーンキャンペーンにつきましては、秋は雨天のため実施日がずれ私は参加出来ませんでした。春は大震災のため中止となりました。長沼クリーンキャンペーンは、7月18日長沼、兵糧山のハス祭り会場で、野菜いかだの回収、除草作業等に参加しました。環境教育プログラムの立ち上げ検討につきましては、登米市の環境市民会議の中で同じ様なプログラムがあり、そういったものに合い乗りしていく方が現実性があるのではと考えております。全体としましては80%の達成率だったと思っております。皆様のご協力に感謝申し上げます。
- ・姉妹都市クラブ委員会 (菅野幸一郎委員長)  
山田直志会長の年度に、ロータリー創立101周年を記念して台北開渡宮に101本の桜を植えてから5年目に入ります。満開の時期が2月中旬ということで、台北西門扶輪社の周年記念が3月に開催されます。3月のため丁度良いタイミングで行くことが出来ませんが、今年はなんとか実施したいと計画し、2月10日~13日に17名で行って参りました。当クラブ単独で行きましたが、西門扶輪社の皆さんに熱烈な歓迎を受けました。より深い友好関係が築けたものと思っています。来年は西門扶輪社は35周年ですので、多数のご参加をお願い申し上げます。
- ・広報委員会 (伊藤俊郎委員長)  
事業計画を立てたものの、会報委員会、広報委員会合同の委員会を開き、活動について話しをした結果に終わりました。
- ・ロータリー財団委員会 (佐竹孝行委員長)  
今年は報告出来るような大きな活動をしなかったことを深く反省しております。しかし、大震災にともなって色々とロータリー財団関係が動いており、これについては、八谷郁夫バスター会長に全面的にさせていただいております。
- ・米山記念奨学会 (江川元徳委員長)  
今年度は新しく功労者が3名増え26名になりました。これは上半期の努力で、下半期は大地震のため力がなくなり、これに対してはお詫び申し上げます。又、4月から米山奨学生を受け入れ、韓国の朴さん(東北大学・大学院博士コース)が5月より月1回例会に参加しております。引き続きよろしくお願いいたします。一年間皆様のご協力に感謝申し上げます。
- ・新世代奉仕委員会 (熊谷敏明会員)  
事業の内容については滞りなく一年間進めてきましたが、青少年善行者表彰が実施出来ませんでした。反省点として、これからは皆様のご協力を得て、なんとか善行者を探していきたいと思ます。一年間ありがとうございました。
- ・クラブ情報管理委員会 (八谷郁夫アドバイザー)  
現実問題として、情報管理委員会は、ほとんど何も

やっていなかったと思ます。これは、50周年に向けての資料整理ということで発足したのではないかと思ます。そういうことでは、50周年の年度に入って半年もあれば出来ることですので、前々から作る必要があるかどうかということを考えております。ただ、現在週報が文章方式で配布されておりますが、これを、クラブとしてパソコンを1台設置し、これに電子化したテキスト的なものを入れておけば、50周年の資料整理の時には、そこから引っ張り出せるということが出来ると思ますので、是非、パソコンを1台入れ、インターネットに加入して、そういった資料を電子的にまとめる必要があるのではないかと考えます。検討していただきたいと思ます。

- ・総評 (阿部賢悟会長)  
総評との事ですが、どちらかと言いますと私自身ロータリーを皆様からこの一年間多くのことを学ばせていただきました。こうした機会を頂戴いたしましたこと感謝申し上げます。  
今年度の活動計画に色々と重点項目、重点目標を決めさせていただきました。各委員会とも初期の目標をきっちりとやっていただきました。  
お蔭様で遠藤光則幹事をはじめ三役皆様の強力な支えがあり、何とか終えようとしております。各委員長には、フォーラムの前に委員会を開催していただき、実のある活発なフォーラムを開催していただきました。本来であれば地区大会において表彰されるべき実績を上げていただいた委員会もありましたが、地区大会が中止になり、その実績が報告されず非常に残念に思ます。順調に推移しておりました事業計画も、3月に来て未曾有の大震災があり、だいたい残り残した計画もあると思ます。次年度の菅原文之会長に引き継ぎをよろしくお願い致します。非常に大変なこの時期、一年間会員の皆様大変ありがとうございました。  
以上、総評にはなりません。感想を述べさせていただきます。
- ◎親懇会 (担当: 佐々木源悦親睦委員長)  
会長挨拶、現会長より新会長へのバッチ交換とプログラムは進み、菅野幸一郎会員の乾杯の発声で宴に入り、和気藹々と楽しいひとときを過ごす。



新旧会長によるバッチ交換



乾杯の発声をする菅野幸一郎会員